

赤十字 NOW

千葉 | 2020 春号 Vol.50

発行所/日本赤十字社千葉県支部 〒260-8509 千葉市中央区千葉港5-7 TEL 043-241-7531 FAX 043-248-6812

3か年間の中期事業計画を策定 赤十字事業の更なる推進を目指して



CONTENTS 2020 vol.50

2 3 特集

千葉県支部
3か年間の中期事業計画を策定

4 News&Report

・あなたも赤十字サポーターに！

5 News&Report

・新型コロナウイルス感染症を防ぐために
・千葉県国民保護共同実動訓練に参加

6 Information

・県民の日ばワクワクフェスタ2020
・新型コロナウイルスによる感染症の拡大に伴う赤十字救急法等講習の中止について
・献血に関するお願い

特集 健康で安心して安全に暮らせる社会を目指して 赤十字としての使命を着実に推進

3か年間の 中期事業計画を 策定

千葉県支部ではこの度、今後3か年間の事業推進の道しるべとなる「中期事業計画」を策定しました。計画期間は、令和2年度から令和4年度までの3か年間。

計画の目指す姿は、「県民皆が健康で安心して安全に暮らせる社会の実現に向けて、赤十字としての使命を着実に果たしていく」千葉県支部です。

計画では、5つの視点から「柱」を立て、1から10までの「プロジェクト」において達成すべき目標を掲げて、3年後の目指す姿に向けて着実に事業を推進してまいります。

Ⅰ 災害に備える

Project 1 災害救護体制の充実・強化

近い将来、発生が予測される大規模地震や大型台風等の自然災害に備えて、医療救護班の災害対応力や災害医療救護コーディネート力の向上を目指します。

また、被災者ニーズに即した災害救援物資の備蓄や、災害時に必要な施設や資機材を計画的に整備します。



九都県市合同防災訓練に参加し、関係機関との連携を強化(千葉県会場・船橋市)



房総半島台風で活躍した日赤災害医療コーディネートチーム



災害救援物資を迅速に被災者に配布

Project 2 地域における防災対応力の向上

災害からいのちを守り、被害を最小限に抑えるために、日頃から防災ボランティアや赤十字奉仕団と協力し、地域住民への防災・減災への取り組みの普及や、地域防災の担い手の育成、子どもたちの防災教育の普及などに取り組みます。



赤十字奉仕団が救急法体験(一日赤十字)



身近なモノを使った救助法(防災ボランティア研修会)

Ⅱ いのち・健康・安全を守る

Project 3 救命・健康・安全意識の向上

千葉県が策定した「AEDの使用促進条例」に基づき、「県民による救命率の向上」を目指して、救急法の普及を一層推進します。

また、千葉県は水難事故件数が全国上位であることから、水の事故を防止するため、水上安全法の普及に積極的に取り組みます。

さらに、指導員のスキルアップ研修やターニケット等新たな講習資機材の導入など、講習指導体制を強化します。



県主催のAED普及キャンペーンに参加



水上安全法講習

Project 4 超少子高齢社会への対応

認知症患者や要介護者を抱える家庭などを、地域で支える活動を支援するため、健康生活支援講習の普及に積極的に取り組みます。

また、安心して子育てできる環境整備を支援するため、幼児の身近にいる幼稚園教諭や保育士等に幼児安全法を普及します。



健康生活支援講習



幼児安全法講習

Project 5 障がい者へのサポート強化

身体に障がいがある人の日常生活の不便を軽減し、自立生活を支えるため、利用者に適した義肢・装具の製作・修理等を行います。



装具の調整を行う義肢装具士



Ⅲ 人の力を集める

Project6 赤十字ボランティアの育成強化

赤十字奉仕団は、赤十字の人道的活動の担い手として地域のネットワークや専門性を活かして、様々な奉仕活動を行っています。



赤十字奉仕団による炊き出し
(九都県市合同防災訓練)



花火大会で臨時救護活動

地域課題を解決するため、新たな活動に取り組む奉仕団を支援するとともに、魅力ある奉仕活動の場の創出や、新たな赤十字ボランティアの確保に取り組みます。



認知症カフェ「お互いさまカフェ」を運営



防災紙芝居を活用して保育園で防災教育活動

Project7 豊かな心をもった青少年の育成強化

赤十字の精神に基づき、豊かな心をもった青少年を育成するため、教育現場のニーズに即したプログラムを提供し、子どもたちの「生きる力」の育成を支援します。

また、災害時に自らの命を自ら守れるようにするため、子どもたちの防災教育を推進します。

さらに、地域における赤十字奉仕団との連携や、子どもたちの「国際理解・親善」の推進などに取り組みます。



応急手当の実習
(リーダーシップトレーニングセンター)



青少年赤十字メンバーを海外赤十字社に派遣(ベトナム)

Ⅳ 世界とつながる

Project8 国際活動の推進

日本赤十字社が行う様々な国際活動に対し、資金援助や人的支援を行うとともに、海外で活躍する国際救援・開発協力要員の養成を行います。

また、NHKと共同で「海外たすけあいキャンペーン」を実施するなど、海外救援金の募集を行います。



救急法普及支援事業に指導員を派遣
(ミャンマー赤十字社)



海外たすけあいキャンペーン

Ⅴ 赤十字を知ってもらう

Project9 赤十字への理解を広げる広報の強化

赤十字活動を知ってもらい、共感する人を増やすため、広報紙(赤十字NOW)の読者拡大や、イベントへの積極的な出展及び開催、ホームページの利便性の向上、Facebookの情報発信の増強など、広報の充実・強化を図ります。



赤十字活動をPR
(幕張メッセどきどきフリーマーケット)



子どもたちが救護員体験
(KIDS CROSS)

Project10 活動資金確保への取り組みの強化

赤十字活動の基盤となる活動資金を確保するため、地区・分区や赤十字地域奉仕団の協力を得ながら、自治会未加入世帯への対応や、ダイレクトメールによる協力依頼の拡大、クレジットカードを通じた寄付依頼、遺贈・相続財産寄付など、多様な活動資金確保への取り組みを強化します。



フリーペーパーを活用して
自治会未加入世帯にPR



遺贈・相続財産寄付による社会貢献活動への理解を促進(終活セミナー)

中期事業計画は支部ホームページで閲覧できます

日本赤十字社千葉県支部 中期事業計画

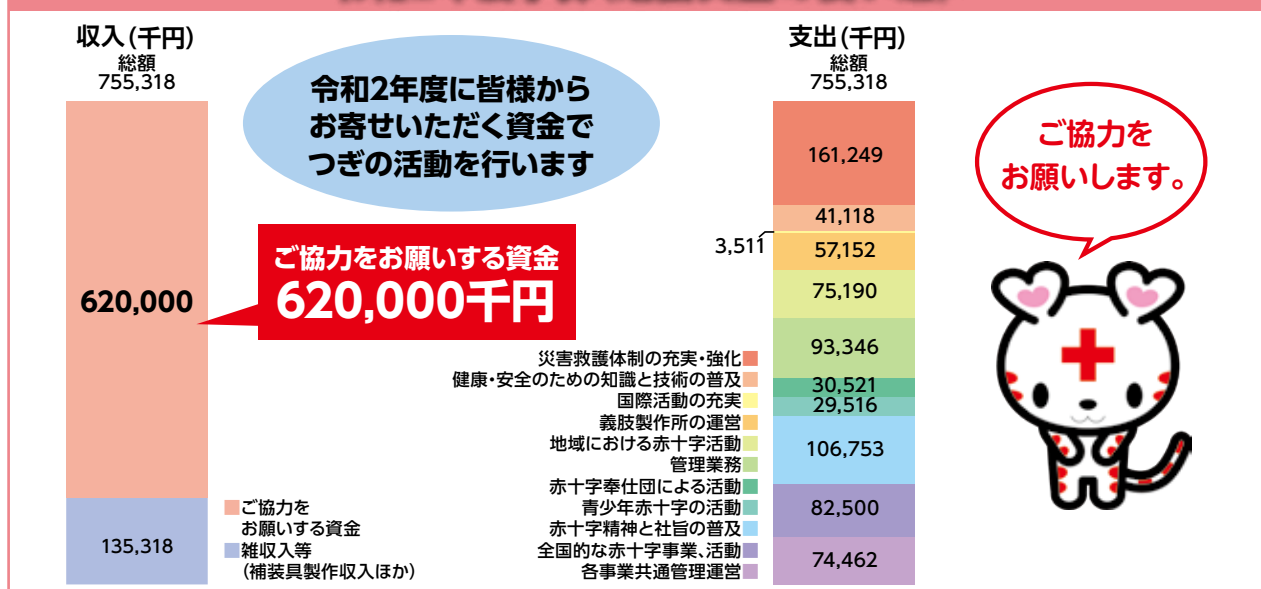
検索

あなたも赤十字サポーターに！

赤十字の人的活動は、国や県からの公的資金によらずに、皆様からお寄せいただく活動資金によって支えられています。

赤十字活動資金へのご協力をお願いします。

令和2年度予算(活動資金の使い道)



あなたのご協力のできること

皆様からお寄せいただく活動資金は様々な活動に活用します。

避難生活を余儀なくされた被災者の支援へ

被災地へ迅速に駆けつけるための装備へ

ひとりでも多くの命を救うための技術の普及へ

緊急セット
1セット3千円

毛布
1枚2千円

災害用 移動炊飯器
1基30万円

災害救援車両
1,100万円

心肺蘇生練習用的人形
1体2万円

講習用AED
1台7万円



活動資金へのご協力方法

町内会・自治会、赤十字奉仕団などの皆様にご支援をいただきご協力のお願いをしているほか、年間を通じて以下の方法でもご協力いただけます。

インターネットで

お近くの窓口で



クレジットカードで月々の継続寄付などをお選びいただくことができます。

千葉県支部または市区役所、町村役場の窓口で受け付けています。

お問い合わせ・お申し込み先

日本赤十字社 千葉県支部 総務部 振興課

TEL 043-241-7531 (代表)

URL: <http://www.chiba.jrc.or.jp/contribute/entry.html>

税制上の優遇措置のご案内

赤十字活動資金にご協力をいただくと、次の税制上の優遇措置を受けられます。

個人に対する税制上の優遇措置

優遇区分	措置の内容等
所得税 (所得控除)	寄付金の全額(ただし、上限は寄付者の年間所得総額の40%まで)から2千円を差し引いた額が、寄付者の年間所得総額から控除されます。
相続税 (非課税)	相続により取得した財産(全部または一部)を寄付した場合、寄付した相続財産の価格が相続財産から除外されます。

法人に対する税制上の優遇措置

優遇区分	措置の内容等
法人税	通常の寄付金の損金算入限度額とあわせて、別枠で算出した特定公益増進法人に対する寄付金の損金算入限度額を損金に算入することができます。

新型コロナウイルス感染症を防ぐために 手洗い・マスク着用で 一人ひとりが対策を

全国各地で新型コロナウイルス感染症による患者が増加しており、感染拡大が懸念されています。正しい手洗いとマスクの着用を含む咳エチケットで感染を予防しましょう。

■感染予防のためにできること

- 石鹸やアルコール消毒液などによる手洗い
- 正しいマスクの着用を含む咳エチケット
- 高齢者や持病のある方は公共交通機関や人込みを避ける

■心配な時は？

- 発熱など風邪の症状があるときは学校や会社を休むなど、外出を控える。毎日体温を測り記録する。
 - 以下の場合には最寄りの保健所等にある「帰国者・接触者相談センター」に電話で相談しましょう。
 - ・ 風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続く
 - ・ 強いだるさや息苦しさがある
- ※ 高齢者や基礎疾患がある方は上記の状態が2日程度続く場合

帰国者・接触者相談センター



①手洗い

正しい手の洗い方

手洗いの前に
・爪は短く切っておきましょう
・時計や指輪は外しておきましょう



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。



手の甲をのぼすようにこすります。



指先・爪の間を念入りにこすります。



指の間を洗います。



親指と手のひらをねじり洗います。



手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

②咳エチケット

3つの咳エチケット

電車や職場、学校など人が集まる場所でやろう



何もせずに
咳やくしゃみをする



咳やくしゃみを
手でおさえる



マスクを着用する
(口・鼻を覆う)



ティッシュ・ハンカチで
口・鼻を覆う



袖で口・鼻を覆う

正しいマスクの着用



1 鼻と口の両方を
確実に覆う



2 ゴムひもを
耳にかける



3 隙間がないよう
鼻まで覆う

出典：首相官邸ホームページ
(<https://www.kantei.go.jp/jp/headline/kansensho/coronavirus.html>)

千葉県国民保護共同実動訓練に参加 オリンピック・パラリンピックを見据えて 爆発物テロを想定

1月29日(水)、東京オリンピック・パラリンピック会場における爆発物テロ発生を想定した「千葉県国民保護共同実動訓練」が、国・千葉県・千葉市・習志野市の共催で幕張メッセや千葉県救急医療センターなどを会場に行われました。

訓練には34機関から約600名が参加。千葉県支部の救護班も爆発現場近くの千葉県救急医療センター前に救護所を展開し、DMATとともに負傷者の搬送と応急救護を行いました。

また、今回は、救護所で応急救護を受けた負傷者を、自衛隊や海上保安庁のヘリコプターによる空路での搬送や救急車による陸路搬送で、他の医療機関に分散して搬送する訓練が行われました。



救護所に負傷者を搬送する日赤救護班



自衛隊のヘリコプターで負傷者を搬送

5-6月は赤十字運動月間です!



皆さまのご来場
お待ちしております!

千葉県支部では、5～6月を「赤十字運動月間」として、赤十字活動へご理解とご支援を呼びかける取り組みを行っています。様々な赤十字活動を知っていただくために、下記のイベントに出展しますので、ぜひご来場ください。

5/31

県民の日ちばワクワクフェスタ 2020

日時 2020年5月31日(日) 9時20分～18時

会場 幕張メッセ 国際展示場ホール8

主催 千葉県

出展内容

- 救急車の展示
- 救護資機材の展示
- 災害時非常用トイレ作成体験 等



救急車の展示



昨年の様子

※左記のイベントの情報は、3月末現在の情報です。今後、国内における新型コロナウイルスの感染状況等によっては、主催者の判断により中止となる場合がありますことを予めご了承ください。

新型コロナウイルスによる 感染症の拡大に伴う赤十字 救急法等講習の中止について

千葉県支部では、新型コロナウイルスによる感染症が日本国内において拡大する傾向にあり、今後も感染拡大が懸念されること、対応に万全を期す必要があることから、5月31日までの赤十字救急法等講習(千葉県支部会場・成田赤十字病院会場)について中止させていただくことといたしました。

なお、令和2年6月以降の救急法等講習会の受付開始については、改めてホームページ等でご案内いたします。

ご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。



献血に関するお願い



血液センターでは、新型コロナウイルスの感染拡大のリスクを避けることや、日々必要な血液を安定的に医療機関へお届けすることに加え、献血される方が一時期に集中しないように、「献血のご予約」と「継続的な献血」をお願いしています。

千葉県内献血ルーム 及び 献血バス会場 ご予約方法
(前日の17時までにお願ひします。)

◆ラブラッド会員(Web会員)の皆さま

Webサイト「ラブラッド」からご予約が可能です。

ラブラッドURL: <https://www.kenketsu.jp/Login>

◆非会員の皆さま

直接献血ルームスタッフにお申し出いただくか、お電話にてご予約を承ります。お電話は各献血ルームに直接ご連絡をいただくか、フリーダイヤル0120-892-760(1月1日を除く、9:00～17:00)までお願いいたします。

活動資金 協力企業 (団体)の ご紹介

日本赤十字社の活動は、皆様からお寄せいただく活動資金によって支えられています。赤十字のサポーターとして、活動を支えていただく「大きな力」となっています。ご協力、誠にありがとうございます。

※ 令和元年度第3四半期に千葉県支部へ直接10万円以上のご寄付をいただき、掲載をご了解いただいた法人(団体)のお名前をご紹介します。なお、千葉県支部ホームページにおいてもご紹介しています。(敬称略・五十音順)

株式会社 畔蒜工務店(横芝光町)

行政書士法人 内田総合事務所(千葉市美浜区)

有限会社 SVS(福岡県福岡市)

エム・ティー・エム興産株式会社(市川市)

株式会社 オアシスグループ(君津市)

ニッケ・タウンパートナーズ株式会社(市川市)

宗教法人 本行寺(流山市)

社会福祉法人 南小中台福祉会 南小中台保育園(千葉市稲毛区)

株式会社 メディカルサポート(千葉市美浜区)

株式会社 横打(習志野市)

米屋産業株式会社(成田市)

株式会社 リンクス・ビルド(船橋市)